奈良県
中央卸売市場
しおり

奈良県中央卸売市場

〒639-1123　奈良県大和郡山市筒井町 957-1
TEL 0743-56-7000（代）
FAX 0743-56-7014
URL https://narashijou.jp

中央卸売市場の役割

奈良県中央卸売市場は、全国で初めての県営中央卸売市場として、昭和 52 年（1977 年）4 月に開設されました。新鮮で多種多様な野菜･果実･水産物を全国各地の生産者から集荷し、せり売や相対取引などにより価格をつけ、流通業者を通じて消費者に安定供給しています。

市場で働く人々

卸売業者

出荷者（生産者）から配達された生鮮食料品を、せり売や相対取引によって、仲卸業者や売買参加者に卸売しています。

仲卸業者

卸売業者から卸売を受けた生鮮食料品を小口に分けて、小売業者や買出人に販売しています。

売買参加者

承認された買出人で、卸売業者から直接卸売を受けることができます。

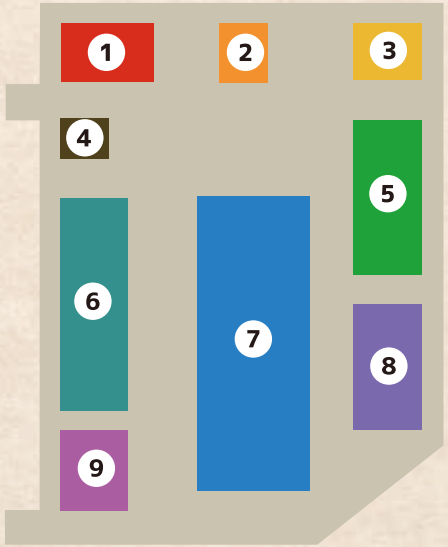
関連事業者

青果物･水産物以外の物で、買出人が店舗の仕入に必要な食材や用品の販売、飲食の提供を行っています。

食品衛生検査所

市場内の食品や施設の衛生状態を監視し、指導を行っています。

市場内の施設配置

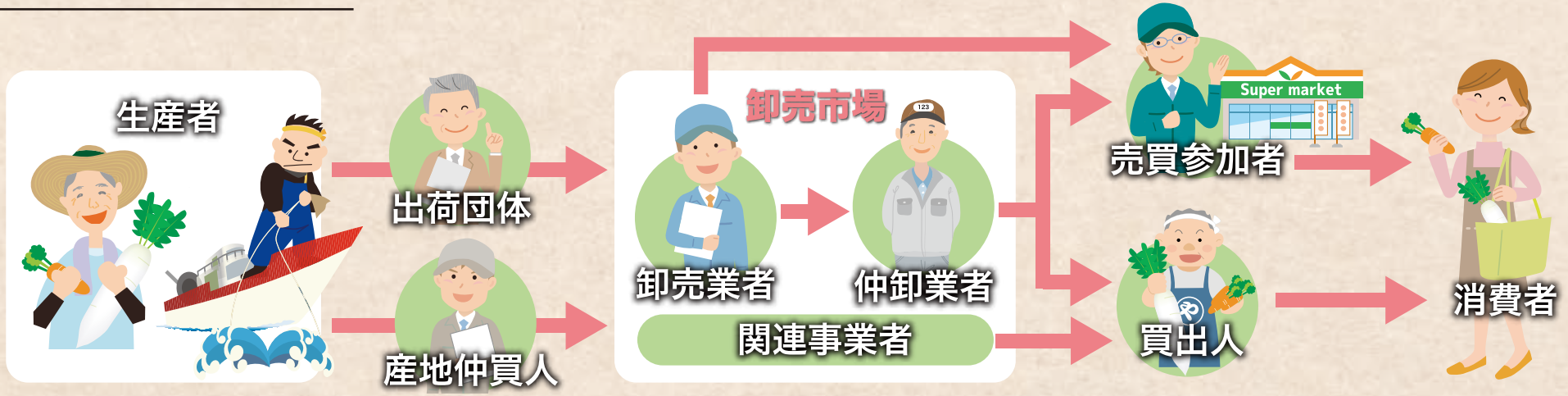


1. 管理棟（銀行）
2. 特高棟
3. バナナ加工場
4. 郵便局
5. 冷蔵庫棟
6. 関連商品売場棟
7. 卸売場棟・仲卸売場棟
8. 倉庫・加工棟
9. 新加工場

当市場の総面積は 151.258 ㎡で、甲子園球場の約４つ分の広さがあります。

近鉄筒井駅より東へ徒歩約 10 分
郡山インターより北西へ約 2.4km

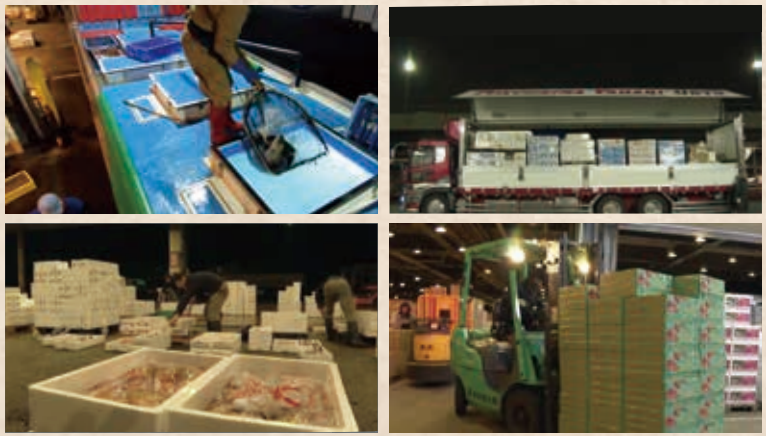
流通のしくみ



中央卸売市場の仕事

卸売業者の卸売の準備

深夜0:00



全国各地から青果物や水産物などの生鮮食料品が配達され、卸売のための準備が行われます。

水産物の卸売

午前4:30

マグロやそのほかの水産物のせりが行われ、仲卸業者や売買参加者によって買受されます。

青果物の卸売

午前6:00

青果物のせりが行われ、仲卸業者や売買参加者によって買受されます。

仲卸業者の店舗販売

せりなどで買受された商品は仲卸業者で小分けにされ、買出人に販売されます。